

時間割コード	K8001	ナンバリング	KY-INS-231-NIP	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木2	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	L S T A	対象年次	4年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	就業力育成・ステップアップ系科目				
担当教員（ローマ字表記）	壁谷 彰慶				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

生命倫理

授業の概要/Course Overview

生命倫理とは、生命に関して生じる、価値（「よい／悪い」「べき／べきでない」etc.）の問題を考える学問です。この学問に正解はありません。問題をどのように考え、行動に移していくかは、各自の判断に委ねられます。この授業では、生命倫理上の中心問題について、受講生同士で意見交換しながら思考を深めていきます。

キーワード/Keyword(s)

延命治療 臓器移植 インフォームド・コンセント 生殖補助医療 人工中絶 子どもの権利
 パーソン論 リプロダクティブ・ライツ 動物の権利 環境倫理 世代間倫理 哲学 倫理学

到達目標/Learning Objectives

- ・実生活や農学研究の中で直面しうる様々な生命倫理の問題を理解し、自分の境遇や身分を踏まえつつ、各自で適切に対応するために有用な考え方や基礎概念を習得する
- ・自分の考えを論理的に表現し、相手に適切に伝える力を身につける
- ・誰かと対話を通して一つの問題を考えながら、他者の見方に立ったり、暗黙の前提（思い込み）を自覚する経験を通し、物事を深く考える姿勢を身につける

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第01回：ガイダンス（授業計画、成績評価、オフィスアワーなど）、生命倫理とは何か

第02回～第08回：「人間の生命」に介入することの是非

第02回：人生の終わりの問題(1)：安楽死と尊厳死

第03回：人生の終わりの問題(2)：脳死と臓器移植

第04回：人生の終わりの問題(3)：臓器移植の現状と制度的問題

第04回：人生の始まりの問題(1)：生殖補助医療技術の進歩

第05回：人生の始まりの問題(2)：出生前診断と選択的中絶

第06回：人生の始まりの問題(3)：プロチョイスvsプロライフ

第07回：人生の始まりの問題(4)：デザイナーベビー、精子バンク・卵子バンク

第08回：人生の始まりの問題(5)：遺伝子操作とエンハンスメント

第09回～第12回：「動物の生命」を利用することの是非

第09回：動物の生命の問題(1)：動物を食べることと動物の権利

第10回：動物の生命の問題(2)：畜産動物と環境エンハンスメント実

第11回：動物の生命の問題(3)：実験動物と人間の生命

第12回：動物の生命の問題(4)：愛玩動物と制度的問題

第13回～第15回：地球環境を保護することの是非

第13回：環境保護の問題(1)：世代間倫理と環境的正義、環境プラグマティズム

第14回：環境保護の問題(2)：保全と保護、生態系中心主義と生命中心主義

第15回：環境保護の問題(3)：放射性廃棄物と100,000年後の安全

【アクティブラーニング】

* 第02回～第15回の授業では、毎回出席者に対し、教員側から授業内容や参考事例に関する質問を投げかけ、意見を提示してもらいます。生命倫理の多くの問題は、一部の特殊な状況に置かれた人たちだけが遭遇したり、特殊な専門的知識をもつ「専門家」だけが深刻さを正しく理解しているものが多くありますが、しかしそうした問題は、本来の性質上、社会全体で考えていくのが望ましい問題でもあります。そこで、授業内での意見のやりとりを通して、一つの意見に対して別角度から応答できることを確認しながら、「ほかの方に立つ」ことや、「自分の見方を他人に共有してもらおう」ことの学びにつなげてもらいたいと思います。

【授業外学習】

授業で使用する資料はスライドも含め、授業開始までに学内ポータルシステムで公開します。この授業は、授業中の意見交換を通して、受講生一人ひとりが柔軟で多角的な思考力と、人に伝わる論理的な表現力を身につけることを最大のねらいとしています。したがって、前回の授業資料に目を通したうえで、授業中の意見交換に真剣に取り組むことを心がけ、その背景知識を十分に理解し定着させるために復習に取り組んでください。復習の具体的方法としては、授業内容に関する疑問点について各自で調べたり、ニュースSNSなどで見知った時事問題や、身近で起きた事件や騒動ついて、授業内容で扱った話題との関連性（類似性や相違点）を考えたりすることがあげられます。そこで学んだことや得られた洞察は、期末レポートで報告してください。

履修上の注意/Notes

- ・出席は、一定回数（初回授業で告知）以上を成績認定の必要要件とするが、それ以外の点で成績評価に反映することはしない
- ・遅刻・早退は、授業開始時刻と終了時刻の30分を目途に判断し、3回につき欠席一回の扱いにする
- ・オフィスアワー：木曜日お昼休み（2限終了後）・講義を行った教室

情報端末の活用

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：生命倫理の主旨と課題を十分に理解し、到達目標に達するきわめて優れた学習成果を実現している
- A：生命倫理の主旨と課題を理解し、到達目標を達する優れた学習成果を実現している
- B：生命倫理の主旨と課題を部分的に理解し、到達目標に概ね達する学習成果を実現している
- C：生命倫理の主旨と課題の理解は十分でないが、到達目標に最低限達する学習成果を実現している
- D：到達目標に達する学習成果を実現していない

成績の評価方法/Grading

- 授業中の取り組み（意見交換への参加やグループ課題の提出など）・・・40%
- 学期末レポート・・・60% ※期末試験は実施しません

教科書/Textbook(s)

備考	【教科書は使用しない（資料は授業内で配付）】
----	------------------------

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	△
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	◎
地域活性化志向	○

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--